ビックキャブKIT（CVK20）取扱説明書

製品番号	03-05-330

適応車種及び	Today（AF61-1000001～）
フレーム番号	Dio　（AF62-1000001～）

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。
使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。
万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。
◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
◎当製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。
◎当製品は、弊社製S-Stageボアアップキット専用です。
◎車両の仕様、気候の変化等で、セッティングの変更が必要になる可能性があります。
◎当製品を使用すると、純正のエアーコントロールバルブは使用出来なくなります。

⚠ 注意　この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

■一般公道では、法定速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。
（法定速度を超える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。）
■作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行って下さい。（火傷の原因となります。）
■作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
■規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。（ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。）
■製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。（ケガの原因となります。）
■走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。
（部品の脱落の原因となります。）

⚠ 警告　この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

■エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。
（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）
■走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
■作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
■点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
■点検、整備等を行った際、損傷部品が見つかれば、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。（事故につながる恐れがあります。）
■ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が周りに無い事を確認して下さい。又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行って下さい。

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後１ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。
但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。
◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

製品内容

番号	部　品　名	個数	リペア品番
1	キャブレター ASSY.	1	03-03-0301
2	メインジェット #80	1	00-03-0040
3	マルチキャップ 7mm	1	00-03-0218
4	マルチキャップ 9.8mm	1	

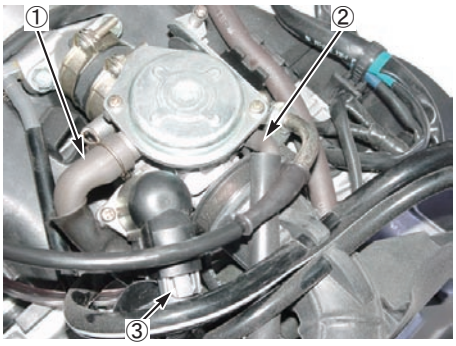
※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。
品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。
予めご了承下さい。
尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合は
セット品番にてご注文下さいます様お願い致します。

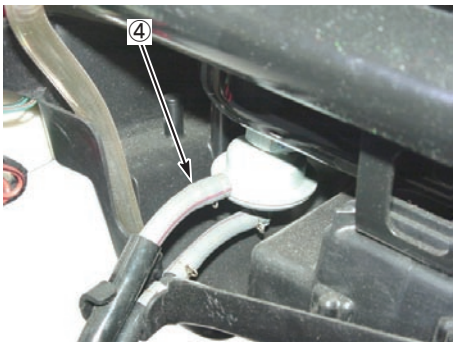
株式会社 スペシャルパーツ 武川
〒584-0069 大阪府富田林市錦織東3-5-16
TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL http://www.takegawa.co.jp
お問い合わせ専用ダイヤル：0721-25-8857

■取り付け要領　※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

（取り付け準備）

○キット内容を確認します。
○エンジン、マフラーが冷えていることを確認します。
○車両を安定させます。
○ラゲッジボックスを取り外します。
○ドレンスクリューを緩め、キャブレター内のガソリンを排出します。
※受け皿を準備してガソリンがこぼれないようにして下さい。
○下記の部品の接続を外します。
①バキュームピストンホース
②エアリードチューブ
③オートバイスターター 2P（灰）カプラ
④フューエルチューブ

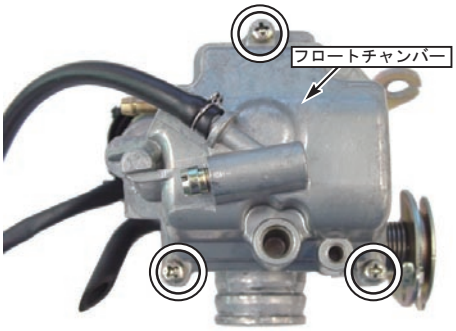




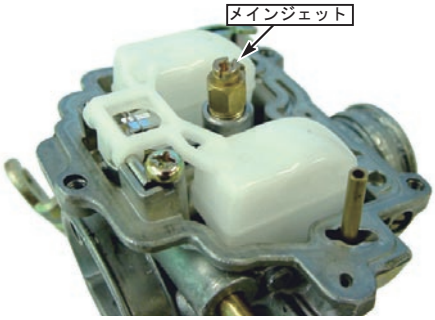
○アジャストナットを緩め、スロットルケーブルをケーブルホルダーから取り外します。
スロットルドラムからスロットルケーブルの接続を外します。
○バンドスクリュー 2 本を緩め、キャブレターをコネクティングチューブとインシュレーターから外します。
※コネクティングチューブとインシュレーターを損傷しないように注意して下さい。

（メインジェットの交換）

○キット内のキャブレターの 3 本のスクリューを外し、フロートチャンバーを取り外します。



○メインジェットを取り外し、キット内のメインジェット #80 を取り付けます。
キャブレターに付属していたメインジェットは使用しません。



○フロートチャンバーを取り付け、スクリュー 3 本を規定トルクで締め付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
スクリュー
トルク：2.1N・m（0.21kgf・m）

（オートバイスターターの組み換え）

○純正のキャブレターから下記部品を取り外します。
①オートバイスターターカバー
②スクリュー
③オートバイスターター
④セットプレート

○キット内のキャブレターからも同様に取り外します。

○純正のキャブレターから取り外した①～④の部品をキット内のキャブレターに写真のように取り付けます。

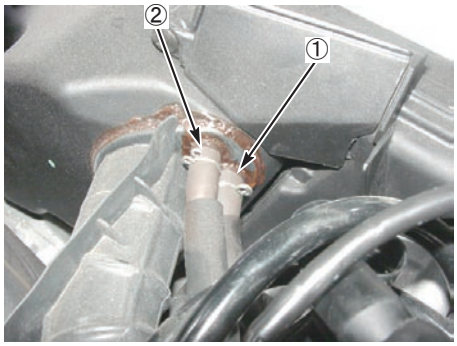
⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
スクリュー
トルク：2.1N・m（0.21kgf・m）

○キット内のキャブレターに付属していたオートバイスターターは使用しません。

○純正のキャブレターからフューエルチューブを取り外し、キット内のキャブレターに取り付けます。

（エアクリーナー）

○下記部品をエアクリーナーケースから取り外します。
①キャブレターバキュームピストンホース
②エアリードチューブ

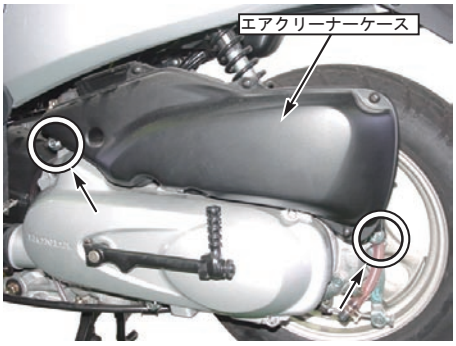


○上記で取り外した部分にキット内のキャップを取り付けます。
キャップ 7mm をエアリードチューブ取り付け部に、キャップ 9.8mm をバキュームピストンホース取り付け部に、それぞれホンダボンド A または相当品のゴム系接着剤を塗布して取り付けます。

■取り付け要領　※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

（キャブレターの取り付け）

○エアクリーナーケースを固定している２本のボルトを取り外します。



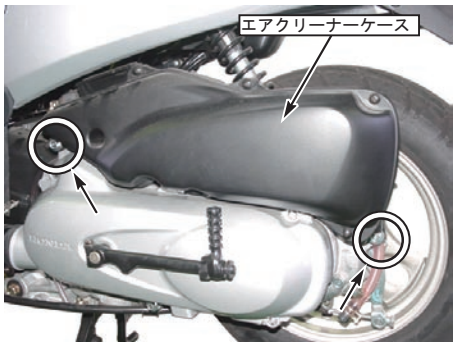
○キャブレターをインシュレーターの突起に突き当てる位置に合わせ、インシュレーターとコネクティングチューブに取り付けます。
※コネクティングチューブとインシュレーターを損傷しないように注意して下さい。
○インシュレーターバンドを写真の位置に合わせ、インシュレーターバンドスクリューを規定トルクで締め付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
インシュレーターバンドスクリュー
トルク：2N・m（0.2kgf・m）

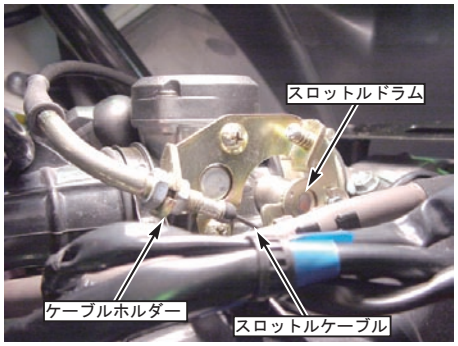
○キット内のキャブレターは純正より全長が短い為、コネクティングチューブを若干前に引きながら取り付け、コネクティングチューブバンドスクリューを確実に締め付けます。

○エアクリーナーケースを取り付け、ボルト２本を規定トルクで締め付けます。

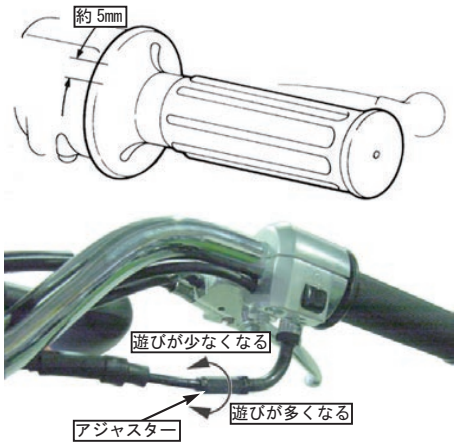
⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：12N・m（1.2kgf・m）



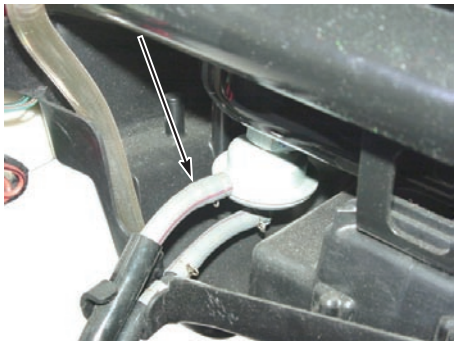
○スロットルケーブルをスロットルドラムに接続し、ケーブルホルダーに取り付けます。



○スロットルグリップ部で5mm程度の遊びが出来るようにスロットルケーブルのアジャスターを調整します。



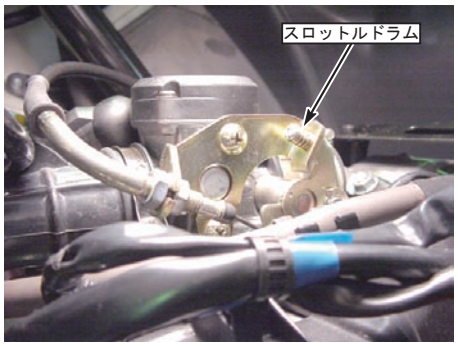
○スロットルを数回スナップさせ引っ掛かり等を確認します。ステアリングを左右いっぱいに切った状態でもスロットルに遊びがある事を確認して下さい。
○フューエルチューブを取り付けます。
※チューブ、ホース類は正しく通して下さい。



○オートバイスターター2P（灰）カプラを取り付けます。

（組み付け後）

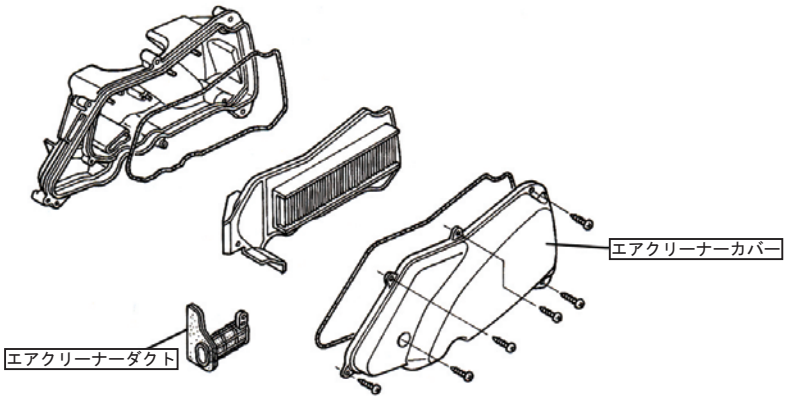
○最後に各部の組み忘れ、ネジの締め忘れをチェックします。
○エンジンを始動させます。
エンジン暖気後アイドリングしない場合や、アイドリング回転数が高い場合は、スロットルストップスクリューで調整します。



補足

(Today CV キャブレター)

走行中急激にスロットルを開けた時、息つき症状が出る場合は、エアクリーナーケースよりエアクリーナーカバーを取り外し、カバー裏側に付いているエアクリーナーダクトを取り外して下さい。
吸入空気量が増大し症状が改善されます。



キャブレターセッティング要領

・キャブレターがエンジンに適合していない時のエンジンに現れる不調の原因は、混合気が濃すぎるか薄すぎるかの 2 つの原因に絞られます。
・エンジンに現れる不調の現象は次の通りです。

混合気が濃すぎる時	混合気が薄すぎる時
・爆発音が重い感じで断続する。 ・チョークを作動すると、より調子が悪くなる。 ・エンジンが暖機すると調子が悪くなる。 ・クリーナーを外すと調子が良くなる。 ・排気ガスが濃い。（黒い） ・プラグが黒くくすぶる。	・エンジンがオーバーヒート気味になる。 ・チョークを作動すると、調子が良くなる。 ・加速が悪い。（息付きをおこす） ・回転変動があり、力がない。 ・プラグが白く焼ける。

※キャブレターのセッティングは暖機後に行い、走行確認を行って下さい。又、プラグは適正な熱価の物をご使用下さい。
※エンジン回転後、スロットル開度等により、どの範囲でエンジンが不調になるかを考慮し、下記の要領でセッティングして下さい。

○メインジェット（スロットル開度 3/4-4/4）

・この開度での混合比は、ジェットの番数を変えることにより調整出来ます。番数を上げると混合気が濃くなります。
・仕様等を考慮の上、最高回転数（最高速度）の得られる物を選んで下さい。

○スロージェット（調整前にまずパイロットスクリューを調整して下さい。）

・パイロットスクリューの戻し量 3.0 回転以上の場合は、スロージェットを小さくして下さい。
・パイロットスクリューが全閉になる場合は、スロージェットを大きくして下さい。
　スロージェットはアイドリングから低速運転時に、エンジン回転数がスムーズに立ち上がるか否かを確認します。
・回転上昇に谷が出来る場合、スロージェットが小さ過ぎます。（アイドル回転時）
・排気が濃く排気音が重い場合、スロージェットが大き過ぎます。（アイドル回転時）
・スロージェット交換時には、パイロットスクリューの再調整が必要です。

○パイロットスクリュー

パイロットスクリューはスロー系の空気流量を調整します。（アイドリング時）
・パイロットスクリューを右に回す→混合気が濃くなる。
・パイロットスクリューを左に回す→混合気が薄くなる。
標準戻し回転数（1.5 回転）に合わせ、左右に 1/4-1/2 回転ずつ回しエンジン回転数が最も高くなる位置に調整します。
アイドルストップスクリューで安定したアイドル回転まで下げ、もう一度パイロットスクリューで最も回転数が高くなる位置に調整します。

●気圧、気温、湿度によるセッティングへの影響

・高地等で気圧が下がると空気密度が下がり、キャブレターへ吸入される空気量が減少します。この為、低地で調整されたキャブレターは混合気が濃くなります。
・非常に気温の低い天候下では、空気密度が上がる為、キャブレターの混合気は薄くなります。
・雨天の場合は湿度が上がる為、空気密度が下がりキャブレターの混合気は濃くなります。

株式会社 スペシャルパーツ 武川
〒584-0069 大阪府富田林市錦織東 3-5-16
TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL http://www.takegawa.co.jp
お問い合わせ専用ダイヤル：0721-25-8857

2017.9.5